

弘経寺だより

発行所

寿亀山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895

秘められた想い

主管 金田大祐

桜の季節。この「さくら」という響きを聞いただけで、何となく麗らかな気持ちになるのは私だけだろうか。この季節には、楽しいことが始まりそうな予感を感じさせ、新しいことを始めてみたくなる気分させる何かがある。

○ ○ ○ ○ ○
 ここ飯沼弘経寺の歩んできた四〇年の歴史を四季に例えれば、新本堂の建設に伴い弘経寺が新たな歴史を刻もうとしている今こそが「桜の春」である。

私たちはこの春をもたらししてくれた大事な人を昨年暮れに亡くした。寿亀山弘経寺第八六世住職 江口定信上人、その人なくしては、弘経寺再興の礎を築くことはできなかっただろう。本来ならば、江口住職と共に弘経寺再興の春を迎えるはずであった。

第15号

先日、故江口定信上人の御子息であり、浦安大蓮寺の御住職であられる江

口隆定上人とお目にかかった。隆定上人とお話しをさせていただくことが、私にとっては故人を偲ぶ何よりの大切な機会となった。

その際、私は隆定上人より一枚の紙をいただいた。そこには、

人間は行動した後悔よりも、行動しなかった後悔の方が大きい

と書かれていた。

これは、故江口定信上人が病床で書かれた絶筆であるという。

「後悔のないように新しいことに挑戦せよ」とは未来のある若者が享受すべき人生訓であるように思える。しかしながら、病床でしかも臨終間際の上人が綴った言葉としてはあまりに深く、あまりに重い。

弘経寺を再興すべく「行動」した江口上人は言動一致の人であった。「臨終の最後の一分、一秒さえも、心を尽くして生きよ。死ぬときになって、本当に生きなかつたと発見することが

ないように、今を生きよ。」と、江口定信上人が臨終の間際まで必死になつて、私たちに訴えようとしていたのではないかと思えてならない。

○ ○ ○ ○ ○
 もうすぐ弘経寺では桜が美しく花を咲かせる。境内が桜色に染まる頃、桜を眺めながら江口住職が残した言葉の意味を深く味わってみたい。

江口定信上人追悼会

・別院弘経寺追悼会

去る一月二六日、当山にて、弘経寺第八六世住職江口定信上人の追悼会がしめやかに営まれました。大本山増上寺蓮池光洋執事御導師のもと、増上寺法要課の御上人方に司式をお勤めいただきました。

式中、御導師が詠まれた香語により、参列した約百名のお檀家の方々が故江口上人のお人柄や弘経寺本堂改修工事への多大なる功績に対し思いを深めました。その後、筆頭総代本田氏からの弔辞が読み上げられ、参列者一同、江口住職のご遺徳を偲び、本堂改修事業の成功をお誓いしました。

・大本山増上寺追悼会

去る二月二六日、大本山増上寺にて

江口定信執事長の追悼会が、増上寺御法主成田有恒台下御新修のもと、厳修されました。別院弘経寺からは本田弘、飯田喜一、飯田滝三、海老原正美、飯田孝夫、海老原泰治、五木田芳夫、古谷三郎、小島義則、山田広、金田大祐(以上敬称略)が代表して参列しました。追悼会に参列された方の一人は、「江口上人追悼のためのお経や声明が参列された何百人もの僧侶の方々により大合唱され、この上なく美しく大殿に響き渡っていました。このように立派な法要に参列できたこと、そして、このように立派な方が当山弘経寺の住職であったことを本当に有難く、誇りに思います。」と感想を述べられていました。

千姫まつり

常総市恒例の行事、千姫まつりが今年五月十三日(日)に開催されます。弘経寺は今年も千姫まつりに協賛してイベントを催します。今年には本堂が改修工事のために昨年のイベントよりも大幅に規模を縮小して、二日のみの開催となります。日程とイベント内容は次の通りです。(裏面へ)

2007年4月
五月十二日(土)・五月十三日(日)
両日ともに、新書院にて午前九時から
午後五時まで

● 遺品展：千姫様の遺品を展示いたします。

● 写真展：写真家伊沢達也氏の写真を中心に弘経寺の歴史を振り返ります。現在、本堂が改修工事中ですので、旧本堂が新本堂に生まれ変わる工程も写真にてご覧いただけます。

五月十二日(土) 午前十時から午後四時まで

● 陶芸ワークショップ：子供たちを対象に金田主管が陶芸教室(粘土遊び)を行います。

五月十三日(日) 新書院にて午前十一時から十二時三〇分まで

● フルートコンサート：昨年の千姫まつりにて大好評でしたフルートコンサートを今年も鈴木祐子さんに公演していただきます。特に千姫まつりのテーマ曲「千姫花物語」はフルートの音色にのって、聴く人に深い感銘を与えます。

五月十三日(日) 古書院にて午前十一時から午後三時まで

● 茶会：毎年行われている野点の

代わりに本年は室内(古書院)にてお茶会を予定しています。お点前をしていただくのは宗偏流の飯田宗藤先生とその御社中の皆様です。

開山忌

弘経寺開山嘆善良肇上人を偲ぶ法会、開山忌が六月三日(日)に開催されます。今年は本堂の上棟と時期的に重なるため、上棟式と同日開催となります。午前中に上棟式、午後に関山忌を営む予定です。詳しい日程は次号「弘経寺だより」にてお知らせします。

本堂改修工事ニュース

基礎工事が無事完了し、二月中には内陣と向拝が、曳家によって、新しい基礎上の定位置に納められました。その後、製材所にてリフレットシユされた旧本堂の柱が新しい基礎の上に次々と立てられ、その間に貫が組まれ、更に各柱の上に桁も組まれました。三月中には内陣から向拝にかけて丸太の梁が組まれます。

なるべく新材を使わず、古材を再利用する改修作業ですので大変な手間がかかります。金剛組の監督のもと、飛驒組(宮大工)さんをはじめとした

職人さんたちの手により、丁寧に手際よく作業が続けられています。上棟式

昨年十一月の地鎮式から今年二月にかけての冬の間、基礎工事が着々と進められ立派な基礎が出来上がりました。春になり柱組、桁組、梁組、屋根組が始まります。そして、五月中には新本堂の骨格が整い、いよいよ上棟となります。上棟式は六月三日(日)の午前に行うことに決定しました。時間はまだ決まっていますが、次号「弘経寺だより」にてお知らせします。

建設委員

世話人の交代に伴い、飯沼五地区は飯田健さんから飯田孝夫さんに、大口下二地区は落合正美さんから落合哲朗さんに、羽生中部地区は石塚政一さんから石塚克己さんに建設委員が交代しました。飯田孝夫さん、落合哲朗さん、石塚克己さん、新本堂落慶に向けて重要で忙しい最中の世話人・建設委員への就任ですが、よろしくお願いたします！

御浄財勧募のご報告

平成十九年二月までに
四三、三六二、八六〇円
の本堂改修工事のためのご浄財が集

まりました。ご協力ありがとうございました。引き続きご支援のほど、お願い申し上げます。



改修工事風景

清掃当番

今年最初の境内清掃日は四月一日(日)です。担当地区は細野・六軒地区です。当日は午前八時集合で雨天の場合は室内の清掃をお願いいたします。細野・六軒地区の皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方々が一極楽へ往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

十二月二日 神林 仁殿 七二歳
十二月二五日 池田金一殿 八一歳
一月 九日 渡辺四郎殿 五三歳